

## 耐雪型パイプハウスの冬期管理について

過去の雪害は、すべて最初の降雪でハウス損壊が発生しています。十分にご注意ください。

冬作を行わない方は、必ず被覆（ポリ）を取り外してください

人命が優先です。積雪対策は複数人で作業しましょう。

必ずヘルメットをかぶり、滑りにくい長靴などを履いて作業しましょう。

### 【事前対策】

- ① ハウス各部の破損・ゆるみ等を点検し、必要があれば補修する。
- ② 被覆資材（ポリ）の押さえとして防風ネットを設置している場合は必ず除去する。
- ③ 補強支柱、筋交い等を取り付ける。
- ④ 被覆資材（ポリ）を取り外す予定のハウスは早急に取り外す。

### 【降雪時対策】

- ① 加温設備がある場合は設定温度を高め、内部カーテンを開放して、屋根面を暖めて雪が落ちるように促す。
- ② 加温設備がない場合はハウスの気密性を高め、内部カーテンを開放して、地熱の放射又は簡易加温器具を使用し、室温を上昇させて雪が落ちるのを促す。
- ③ 雪が落ちる妨げとならないよう、ハウス周囲の除雪を行う。（周囲の雪がハウスの肩より高くならないようにしておく。）
- ④ 屋根に雪が積もった場合は速やかに雪を下ろし、被覆資材（ポリ）が雪でたるまないようにする。（雪が落ちにくくなる）
- ⑤ 散水により積雪を流すことは、雪が水を含んで重くなり倒壊の危険が増すので絶対に行わない。

### 【事後対策】

- ① 強風や降雪後は、被覆資材（ポリ）の損傷やゆるみ、たるみ等を点検し、必要に応じて補修する。特に主管をつなぐジョイントや金具のゆるみに注意する。

◎別紙に補強支柱の設置例を記載していますので、参考にしてください。

※市販の補強支柱の代わりに太い木等を使用している方もおります。